

# ショウリョウバッタ

## 5月定例クリーンアップ

【活動報告1】

5月26日(日) 9:00~11:00 晴れ(真夏日)

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋上流～耕地橋(土嚢袋10袋、錆びた水道管(1m位)、ローラーズルー?、番線?10m位、ガラスの破片他回収)

参加者：長橋輝明、西澤博厚、小坂信房、中村健二、外川忠志、関場俊子、関場さら(小2)、関場らい(年中)、藤間康司、山田陽治、金澤由香、柴田繭子、柴田真菜、柴田幸成(小3)、浦信太郎、浦知美、浦なつこ、水野公秀、水野裕子、飯村優介、金子英司、深沢大地、柏倉陽向、水野秀昭、貞廣宇保、高橋悠紀、五月女陽斗(小5)、小宮一葉、細川一雄(計29名)



ブッコフ下の清掃



ブッコフに掛かる橋の工事中。橋の下にペンキを剥がした際の破片が多数落ちている



回収した10袋のゴミ(内4袋は大道小の侍従川清掃で子供達が回収)

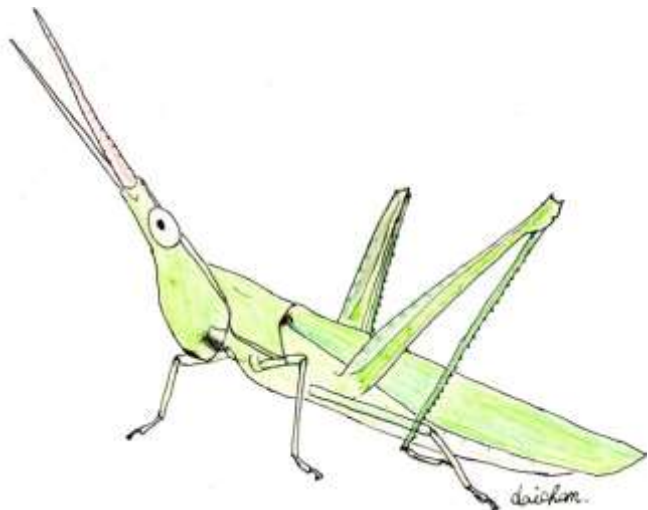


耕地橋下の清掃

### ショウリョウバッタ (精霊蝗虫)

学名：Acrida cinerea

メスは8cmにも及ぶ大型のバッタ。成虫は主に精霊(しょうりょう)祭りの時期に見られる事からこの名がついた。背丈の低い明るい草地に生息し、イネ科の植物を好んで食べる。多少の草地があればどこでも見られる普通種だが、草地のある公園や空き地の減少により見る機会は確実に減っている。飛翔する時の音からチキチキバッタとも呼ばれる。 深沢大地



## 会員の集い

【活動報告2】

6月1日(土) 18:10~19:10 大道コミュニティ 河本充雄

今年もホタルのシーズンを待って会員の集いが開催されました。

昨年度の活動報告と会計報告・監査報告のあと、この7月から水辺愛護会が分離することが報告され、それに伴って、山田代表がクリーンアップのリーダーになることが承認されました。続いて、今年度の活動計画案と予算案も承認され、最後に、侍従川の浚渫工事と地元住人との話し合いについて山田代表から説明があり、また、会員の松崎淳さん(県会議員)から現状説明とアドバイスをいただき閉会しました。



## ホタル観察会

【活動報告3】

6月1日(土) 19:30~20:30 大道溪谷 島村眞依

6月1日にホタル観察会が開催されました。私は就職してから本当に足が遠のいてしまっており、5年ぶりくらいに侍従会の行事に顔を出させていただきました。ホタル観察会に顔を出すのはいつぶりなのかも分かりません。しかし、大道中に足を踏み入るとそこには変わらない匂いと音がありました。初夏を感じる夜の匂い、生き物たちの鳴き声そしてホタルを観に来た方々の話し声。とても懐かしく感じました。侍従会のメンバーに会うと数年ぶりの方もたくさんいらっしゃるのに先週も会ったような感じで接してくださり、更に「帰ってきたな」という気持ちが強くなりました。肝心のホタルもたくさん飛んでいました。ホタルを観て風情を感じつつも学生部の頃のように無意識に数も数えていました。社会人になり一度は遠のいた侍従会ですが、この観察会をきっかけにまた参加していきたいと感じました。



## クワガタ観察会

【活動報告4】

6月9日(日) 18:30~20:10 高橋悠紀

僕は、6月9日のクワガタ・カブトムシ観察会に参加しました。大道のうら山で行いました。

雨の中なので、すごくすべって、進むのが大変でした。そんな天気だったので、カブトムシもクワガタも1匹きもないと思いました。しかし、スタッフさんが、目星をつけた木を探すと、コクワガタのオスとメスが捕れて、びっくりしました。スタッフさんの話によると、この山は、金沢区で一番クワガタなどがいる山だそうです。雨の日なのに、クワガタが2匹も捕れたことから、たくさんのクワガタなどがいるんだなと思いました。



木の見分け方も教えてもらい、クヌギやコナラなどがよりわかるようになったので、たいへん勉強になりました。ほかの所へ捕りに行くときに、役に立ったらいいと思います。雨にもかかわらず、開さいして、説明してくれたスタッフさん、ほんとうにありがとうございました。来年も参加したいです。

## 6月定例クリーンアップ

【活動報告5】

6月23日(日) 9:00~11:00 曇り時々霧雨

細川一雄

実施内容: 大道東橋~大道橋~朝比奈橋上流~耕地橋 (土嚢袋4袋、20X30cm位の鉄板、鉄の籠、プラスチック製のボード、発泡スチロールの板他回収)

参加者: 長野政治、長橋輝明、角田繁、西澤博厚、村田章夫、中村健二、小坂信房、関場俊子、関場さら(小2)、外川忠志、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽斗(小4)、飯村優介、深沢大地、小野田幸介、小川和美、宇多芳美、岩森あかね、松本佑樹、外角澄恵(以上4名は鶴見あけぼの保育園)、細川一雄(計22名)

★外川さんと三艘橋の下に廃棄されていた自転車(買い物かご付きのママチャリ)を引き上げに行ったが、自転車は無かった。前日頃に誰か回収したか?

★ブックオフに架かる橋の塗装工事が先月から実施されている。シートで囲われているが下には剥がされたペンキの破片が多数散らばっている。工事終了後掃除してくれるのか?



ブックオフ下流の清掃



ペンキの破片



回収した4袋のゴミ

佐野副代表がパパになりました!

6月17日に長女 汀(みぎわ)ちゃんが誕生しました。汀とは「海や池や川の水と陸が接する水際」という意味で、「いろいろなものが集まって、水にも陸にも通じる始まりの場所」という思いを含めたそうです。奥さんの歩海さんも元気とのこと。侍従川デビューが楽しみです。



## いかだ川下り大会

7月20日(日)、21(月・祝)

【活動報告6】

藤間康司

今年も参加しました、いかだ下り。

子どものころに戻った感じで楽しく参加させていただきましたが、かつて同じようなことをしていたかといえば、そんなこともなく。

私が幼少期を過ごした場所には、湯川という川があります。通った小学校の前を流れる川で、水量も豊富。大人になって気づいたことは、生き物もたくさんいるということ。川遊びも楽しめそうなところですが、川に入って遊んだ記憶がありません。豊富な雪解け水で、会津盆地の田んぼを潤すぐらいの川なので、おそらくキケンだから入らないでという指導があったんじゃないかと。自分の子どもの頃と比べると、侍従川でこんな体験ができる子どもたちが、とてもうらやましく思います。



なので今年も侍従川を楽しむために、娘と一緒に参加しましたが、それぞれ別チーム。私は小2・小3の男の子たち2人とチームを組みました。昨年2位なので、今年は1位狙い。最悪でも娘の女子チームに負けないという目標を秘め、勇んで出港。去年と違って水位が高く、仕方なくいかだを押しするような場面はそれほど無く、漕ぎやすく、全体的に早い時間のゴールとなりました。

私達のチームも、最初は順調。

小2・小3男子たちもなかなかのもので、徐々に漕ぐのがうまくなっていきました。序盤から1位の男子チームには離されてしまったので、まだ視界に入っている女子チームには勝つという気持ちでいましたが、関学前辺りから雲行きが怪しく。子どもたちがパワーダウンで、どんどん失速。。そこからはとにかく進まず、ほかのチームは遙か彼方へ。でも平潟湾にでてから、男の子たちが少しだけ頑張ってくれたので、リタイアすることなく、なんとかゴールにたどり着きました。

当初の目標通りにはいきませんでした。ちゃんとゴールできたので、疲れたけど楽しかった。来年も同じメンバーでやれるだろうか？もしやれたら、男の子たちの1年分の成長が見られるかもしれないな。

そういうのも楽しみの一つです。









## 7月定例クリーンアップ

【活動報告7】

7月28日(日) 9:00~11:00 曇り後晴れ

山田陽治

実施内容：大道橋～侍従橋(土嚢袋4袋)

参加者：関場俊子、関場らい(小2)、関場さら(年中)、藤間康司、飯村優介、深沢大地、小野田幸介(高2)、貞廣宇保(中1)、五月女陽斗(小5)、山田陽治(計10名)



回収した4袋分のゴミ

## 学生部合宿 in 三戸浜

【活動報告8】

8月10日(土)～12日(月)

**田嶋駿一** 久しぶりに侍従会の活動に参加した。一年ぶりになるのだろうか。旧交を温めながらキャンプ地に向かう。暑さにへばりそうになりながらも、道中海が見えると年甲斐もなく興奮したが、そこからが過酷な3日間の始まりだった。大量の荷物を何回かに分けて、往復20分以上のキャンプ地の砂浜まで運んだ。そして食料も現地調達。火も自分で起こす。夜はテントに雑魚寝。シャワーなし。正直こんな環境であることを想定していなかったため、圧倒的な準備不足だった。それでも海で泳いだことや、料理を作ったこと等で思う存分リラックスできた。また機会があったら、今度は充実した装備のもとリベンジしたい。



**柏倉陽向** とても楽しかったです。1日目にした釣りはベラがとても釣れて最高でした。夜の火起こしはとても大変だったけど楽しかったです。2日目は海に入ってたくさん潜り結構波が強くて流されそうになったり岩に打ち付けられたりしましたがどれもいい経験だと思いました。夜の火起こしはすぐに火がついてとてもレベルアップしたのを感じました。3日目は海で2日目同様潜りました。きれいな貝殻を拾ったりして遊んでました。友達と泳ぐのはやっぱり楽しいです。初めてで何をやるのか全く分からなかったけど、このキャンプでレベルアップしたのを感じました。

**貞廣宇保** 今年は学生部キャンプに参加させていただきました。私が思っていたよりも三崎口駅から今回テントをはるところが遠く、水などの個人以外の持ち物をとても重く感じました。三戸浜はカメノテやマツバガイが多く、マツバガイは型もいいため容易に採ることができました。釣りをしているとニシキベラとホシササノハベラしか釣れず、海に入るとニシキベラをととても多く感じました。また、マガキガイという貝もあり、こちらも非常に美味しかったです。楽しかったです。ありがとうございました。

**大野颯太** 8月11日の昼から12日まで学生部キャンプに参加しました。昼食は自分達で作ったペペロンチーノでした。野外で作ったペペロンチーノはとても美味しく感じました。午後はシュノーケルをしました。チョウチョウオやボラ キュウセン、ベラ、イカ等を見る事が出来ました。夕方はバーベキューをしました。炭火で焼いた肉と野菜はとてもジューシーで美味しかったです。最終日は前日と同様シュノーケルをしました。波が高くて岩に打ち付けられそうになったりしました。また漂着したカヌーで遊んだり、去年とは違った事をやってとても楽しかったです。また来年も参加したいと思いました。

**今井翔太** 学生部のキャンプに2日目の夜から参加させていただきました。たった1日ですがとても楽しかったし辛かったです。特に大変だったことは2日目の夜の寝るときです。自分は暑いのが嫌いなので外で寝たのですが、夜中は逆に何かかけないと寒いぐらいでした。もう1つ大変だったことは3日目の荷物運びです。話によると1日目の方が大変だったそうですが、普段家から出ない自分からすると3日目の荷物運びもとても大変で次の日筋肉痛になるほどでした。そして楽しかったことは3日目海で泳いだことです。海は海水の上がった後のベタベタが好きではないのであまりいいイメージはなかったのですが、いざ海に潜ってみると川よりも生き物が多くとても楽しかったです。なのでこの学生部キャンプがもう一度あるなら行きたいなと思いました。

**高橋一太** とても楽しかったです。

**深沢大地** 昨年復活した学生部の一大イベント、学生部合宿を今年も三戸浜で開催しました。昨年は1泊でしたが今年は2泊、人数も8人と賑やかな合宿になりました。合宿の詳しい内容は参加してくれた皆が書いてくれているので、個人的な感想を少しだけ書こうと思います。2日目の夜、フナムシを食べました。決して食料に困った訳ではありません。焚き火している場所の周りに山ほどいるフナムシを見て、どうしても食べてみたくなったのです。きっとあまり旨味の無いエビみみたいな感じなんだろうという想像は全くの的外れで、レモングラスのような爽やかな香りと独特なクセがあり、フナムシはこんな味なんだと知れてとても満足しました。美味しいとは言い難い、かといって不味くて食えないという程ではない絶妙なラインを攻めてると思います。今回はあくまでも「味見」だったので何も味付けせずに炭火焼きにしましたが、良い調理方法を見つけられたらかなり有用な食材だと思います。台風の影響が少なからずあり心配でしたが、今年も無事に開催出来て良かったです。参加してくれた子達も楽しんでくれたようで準備してきた甲斐がありました。





## 8月定例クリーンアップ

【活動報告9】

8月25日(日) 9:00~11:00 晴れ

山田陽治

実施内容：大道橋～諏訪野橋（土嚢袋3袋、木材、風呂のフタ）

参加者：関場俊子、関場頼、寺尾勝廣、藤間康司、飯村優介、柏倉正和、柏倉陽向（中1）、柏倉陽斗（小4）、金子英司、深沢大地、小野田幸介（高2）、貞廣宇保（中1）、五月女陽斗（小5）、山田陽治（計14名）



回収したゴミ

## 琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～ ～ フェリエベニボシカミキリ ～



縄張り争いによって右触角を失ったオス



学名：*Rosalia ferriei* 体長：19～29mm

分布：奄美大島 発生時期：6月～7月

フェリエベニボシカミキリの産卵木

奄美大島特産種の美しいカミキリムシで本土に分布するルリボシカミキリに近いカミキリムシです。イタジイやオキナワウラジロガシの老木が生える湿度の高い原生林に生息し、これらの樹木の立ち枯れや倒木に産卵します。1匹のオスが産卵木で縄張りを張ってメスを待ち、時に他のオスと激しく闘争することもあるようです。和名のフェリエは琉球で布教活動をしたがら昆虫を集め故国に送ってこの地域の昆虫相解明に貢献したフランス人の司祭 ヨセフ・ベルナル・フェリエ神父に由来しています。本種は鹿児島県奄美市の指定する希少野生動植物保護条例で採集、飼育が禁止されています。

監修：熊井健（沖縄在住）



# ピカピカタンポポだより⑬ 横浜市立大道小学校 鷺谷康子

## 6月22日（土）大道小学校トンボ池のエコアップを行いました。

今年も、大道小学校トンボ池のエコアップが行われました。

今年の課題のひとつ目は、ここ数年問題になっている、池の底のヘドロ状の土です。6月に入って、臭いと緑やピンク色の藻の発生も気になっています。そして2つ目は、池の生き物のバランスです。昨年の冬、トンボ池の周りの大きな落葉樹の枝を思い切って選定していただき、池に入り込む落ち葉を減らし、今回、ヘドロをとることで、今後の環境に期待できると考え、ヘドロをしっかりと取るように頑張りました。

地域の大道村の方々、学校で呼びかけた30人ほどの親子を中心に、近くの横浜信金の方、大道小学校の職員でまずは、生き物の保護。網を使ってすく



い取り、水槽に

入れていきます。メダカ、エビ、クチボソ、などがたくさん保護されました。そして、ザリガニは、別の水槽へ分けて、駆除。（正門池に入れました。）

たくさんの方の力で、大切にされているトンボ池。これからも、子どもたちの生活の場のひとつとして、守っていきたいと思います。



## 理科・生活科の学習と関連させていろいろな植物を育てています。

大道小の裏庭で、大切に育てています。

- 1年生 花 アサガオを一人一鉢。花壇にはオジギソウ・コスモス・フウセンカズラ・グラジョウラス・ヒマワリ
- 2年生 野菜 サツマイモ・トウモロコシ・トマトピーマン・ナスなどの夏野菜
- 3年生 ホウセンカ・ひまわり
- 4年生 ヘチマ（つる植物）
- 5年生 イネ
- 6年生 ホウセンカ ジャガイモ（光合成の実験にも使います）

## 朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

この出来事は8月21日午前9時15分頃、朝比奈北の森の小道のこと。

ゆるやかな林間で何往復かジョギング中、大きなシマヘビが道にでてきた。呑み込み中だ。赤みある色彩に、くっきりと斑紋、いかにも赤マムシタイプのニホンマムシを。頭はすでに呑まれていた。そのシマヘビ、尾をカタカタ鳴らし、食事のじゃまするなとばかり。様子見ていると、獲物は離さずヤブの中へ移動していく。尾を震わせ威嚇音をだしながら。この時はカメラも持たずに写真は森の樹液の様子。カブトムシやコクワガタはよくみられた。



### トピックス

6/6 (木) 自主保育そらまめのねっこの侍従川魚釣り…山田が対応

6/12 (水) フリースクール自然のがっこう (自然体験教育研究会NEES) が侍従川で魚釣り…山田が対応

7/10 (水) 鶴見あけぼの保育園の侍従川での魚釣りが雨天延期

7/17 (水) 六浦南小学校4年生に侍従川のレクチャー…山田が対応

7/18 (木) 鶴見あけぼの保育園が侍従川で魚釣り ⇒  
…西澤、角田、関場、細川、山田が対応

8/3 (土) 横浜すきっぷ保育園が侍従川で魚釣り  
…山田が対応

8/9 (金) アメリカ山ガーデンアカデミー学童クラブ  
が侍従川で魚釣り…山田が対応

8/10 (土) 大道小学校キッズクラブが侍従川で魚釣り…飯村が対応

8/11 (日) やまだようじ自然塾「親子魚釣り教室 in侍従川」が侍従川で開催…山田が対応

8/28 (水) 六浦南小学校4年生の侍従川での魚釣りが雨天中止





## 北の国から ～拾いたい気持ちは分かります。でも…～ 瀧本宏昭

5月から7月の期間、私が勤めているネイチャーセンターでは、「ヒナが動かないでいる（もしくは保護した）がどうすればいいですか？」という一般の方からの問い合わせの電話が多くなります。

春から夏にかけては鳥たちが子育てをする時期です。ヒナが何かが原因で巣から落ちたところを発見して電話をくださります。このような問い合わせが来た場合、基本的に「巣に戻せない場合は、そのまま置いておくか、車にひかれそうな場所であればすぐ近くの大丈夫そうな場所に置いておいてください」と返答しています。

保護しても人間の手で育てるのは非常に難しいからですし、親鳥は落ちたヒナにもエサをあげ続けます。捕食者に襲われる可能性があります。親鳥が育てた方が生き残る可能性が高いと考え、そのように答えています。また、自然の循環の中で考えれば捕食者に食べられることにも意味がありますので。

ただ例外があって、その場所に置いておけない、戻せない場合は、隣の施設の「ウトナイ湖野生鳥獣保護センター」で受け入れています。ここは環境教育のための施設であると共に、傷ついた鳥などを治療する施設でもあります。

受け入れられた鳥は常駐する獣医師、職員、ボランティアさんで面倒を見ています。日本野鳥の会のレンジャーも常駐しており、私もこの場所に勤務することがあります。私は携わっていないですが、ヒナへはエサを頻繁にあげなければいけないため、デスクのすぐ近くに置いて、別の仕事をしながら対応しています。思いがなければとても続けられないと思います。ただ、力を尽くしても野に放せるようになるのは数少ないそうです。

端で、時々ヒナをのぞかせていただくと、種類ごとのヒナ独特の羽の状態やカッコウの仲間はずごく攻撃的でよくかんでくるなどの種ごとの性格の違いなど、とても勉強になります。そして、見ていてかわいい。保護したい気持ちはすごく分かります。でも、出来る限り、ヒナを見かけても野にそのまま見守る方が望ましいと私は思います。



カッコウの仲間のヒナ、シャー鳴いて威嚇してくるが、エサを見せると食べる食いしん坊

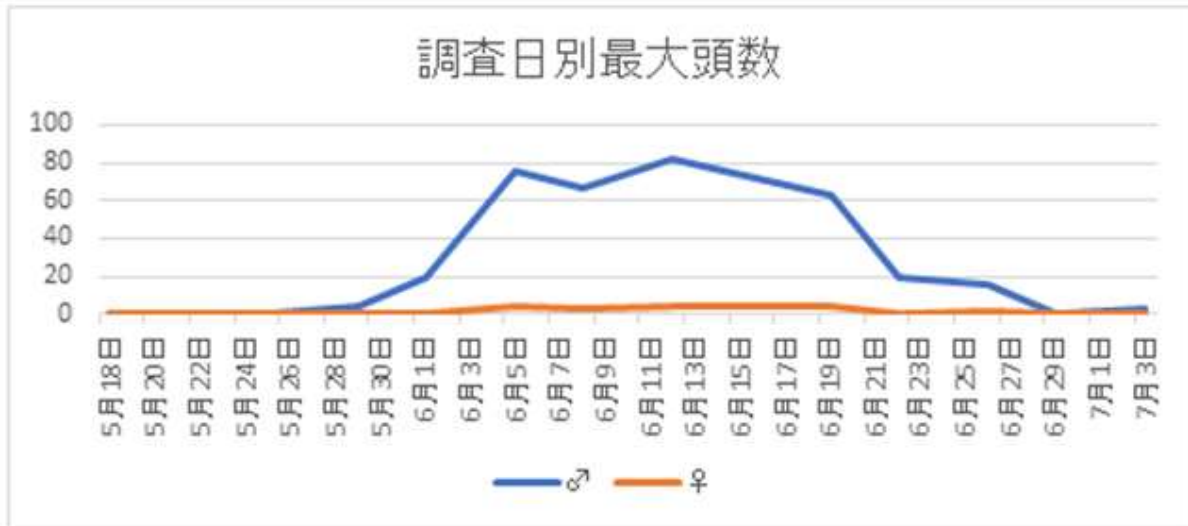


アオジのヒナ、このヒナを見られるのは北海道らしい

# 侍従川定例調査報告 学生部

## <<ホタル調査報告>>

今年も学生部主導で5月18日から7月3日までの約1ヶ月半にわたりホタル調査を実施した。ホタル出現頭数のピークは6月12日の19:30の82頭（♂）だった。これは、昨年の42頭という記録のほぼ倍にあたる数字である。



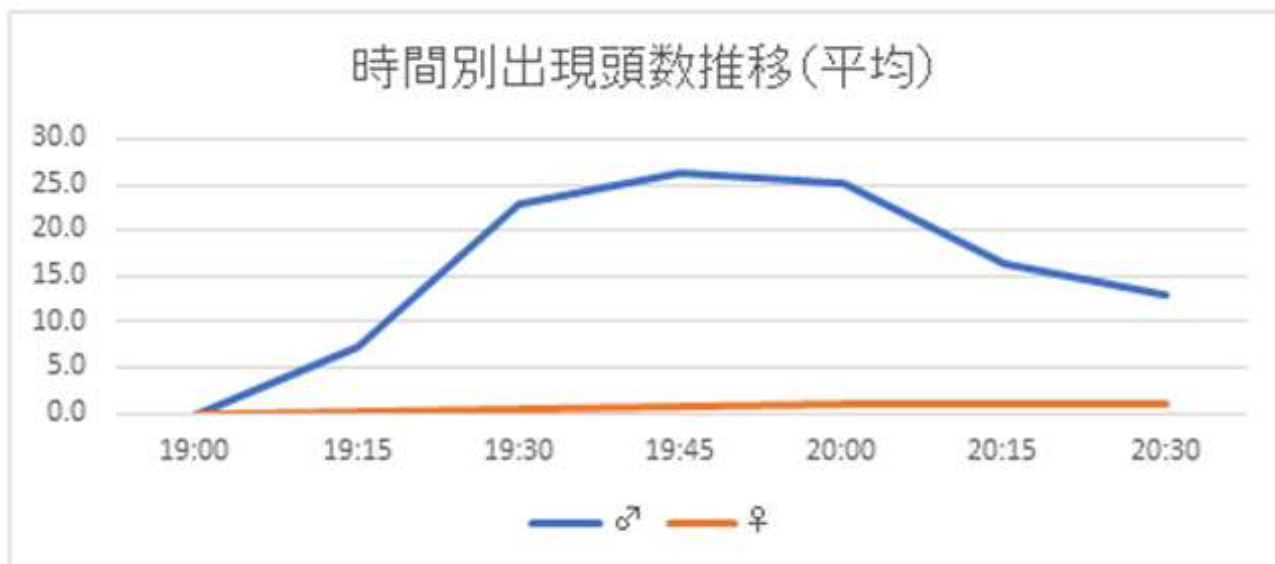
ホタルの頭数の回復と整備作業の関係を見るため、年度別の最大出現頭数と前年度に整備作業を実施したかをグラフにまとめた。



グラフを見ると2014年から2016年にかけて整備作業をしなかった期間において数が減少しているように見える。一方で2012年も前年に比べて大きく数を減らしていることが分かる。当時の記録を見返すとピーク時期に雨天のため調査ができなかった点と保全作業実施にもかかわらず水路が埋まっている箇所があった点が影響を与えたのではないかと記載がある。ここ数年のデータだけでは一概に整備作業の有無がホタルの出現頭数にどれだけの影響を与えているか計ることはできない。



次に、今年度の時間別出現頭数推移（平均）をグラフにまとめた。



このグラフから、ホタルは、夕暮れとともに増加し19:45にピークとなり、その後減少しているため、ホタルの観賞は19:30~20:00頃が見頃であるといえる。

今後もデータを取り続けることで整備作業がホタルへ与える影響やよりよい整備方法を検討できればと思う。今年は12月と1月の2回にわたり、整備作業を実施する予定だ。ぜひ今年も皆様のお力を借りできればと願っている。

## 2019年7月28日(日)

9:00~11:00〔クリーンアップ調査〕曇り後晴れ

【調査範囲】 大道橋~侍従橋

【確認した生物】 モノアラガイ、カワニナ、ハグロトンボ成虫/幼虫、コシボソヤンマ幼虫、ヤマサナエ幼虫、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、モクスガニ、アカテガニ死骸、クロベンケイガニ、ボラ、シマイサキ、ウロハゼ、シマヨシノボリ、スミウキゴリ、ビリング、チチブ、ウキゴリ幼魚

13:00~16:00〔定例調査〕晴れ

【調査範囲】 中野橋~本流の源流域

【調査方法】 橋毎に範囲を区切り、夕モ網を用いて捕獲できた生物を記録。

【参加者】 深沢・貞廣・柏倉 【記録】 深沢

範囲①中野橋~加倉橋: カワニナ多数、ミゾレヌマエビ多数、モクスガニ2、コモチカワツボ多数、ウズムシの仲間多数、ハグロトンボ(成)複数、オオシオカラトンボ(成)1、アメリカザリガニ1、コシボソヤンマ(幼)1、スミウキゴリ2、ビリング2、ボラ多数

範囲②加倉橋~大道橋: カワニナ多数、ボラ多数、モノアラガイ2、コモチカワツボ多数、スミウキゴリ1、チチブ多数、ハグロトンボ(成)複数、モクスガニ2、ミシシippアカミミガメ1、イシマキガイ1、クサガメ1

- 範囲③大道橋～橋A：チチブ多数、スミウキゴリ2、モノアラガイ2、オオシオカラ(成)1、ウズムシの仲間多数、サカマキガイ1、ウスイロオカチグサ1
- 範囲④橋A～橋B：ウズムシの仲間多数
- 範囲⑤橋B～橋C：モノアラガイ2、カワニナ1、コモチカワツボ2、モクズガニ(脱皮殻)1、
- 範囲⑥橋C～橋D(青)：モノアラガイ1
- 範囲⑦橋D～橋E(ブクオフ)：ウズムシの仲間多数、ハグロトンボ(幼)1、モノアラガイ1、ハグロトンボ(成)1
- 範囲⑧橋E～橋F(三信住宅北側)：モクズガニ1、スミウキゴリ4
- 範囲⑨橋F～橋G：ミミズの仲間1
- 範囲⑩橋G～橋H：ハグロトンボ(成)1
- 範囲⑪橋H～橋I(セブンイレブン下流)：オオシオカラ(成)3、スミウキゴリ1、ハグロトンボ(成)1、※オオブタクサ2
- 範囲⑫橋I～環状4号線：スミウキゴリ1、ハグロトンボ(成)3
- 範囲⑬環状4号線下：コモチカワツボ多数
- 範囲⑭環状4号線～金ノ橋：カワニナ2、コモチカワツボ多数、ウスイロオカチグサ1
- 範囲⑮金ノ橋～橋J(小さい鉄の橋)：コモチカワツボ多数、スミウキゴリ4、カワニナ多数、カガンボの仲間(幼)多数、ヤマトクロスジヘビトンボ(幼)1、ヒメフナムシ(?)1、オオミスジコウガイビル1、サワガニ2
- 範囲⑯橋J～川の始まり：スミウキゴリ2、ミルンヤンマ(幼)1、モンキマメゲンゴロウ11(幼)=幼虫・幼体、(成)=成虫

【備考】

- ・今回の調査でも外来種の巻き貝であるコモチカワツボが多くのポイントで見つかった。
- ・本流では珍しいアメリカザリガニが1個体捕獲された。撮景後駆除。
- ・範囲⑪(セブンイレブン下流側)にてオオブタクサを確認。こちらも駆除。
- ・範囲⑮にてヒメフナムシを捕獲。
- ・今回の調査ではスミウキゴリを多数確認出来たが、ウキゴリは1匹も確認出来無かった。

2019年8月25日(日)

9:00～11:00〔クリーンアップ調査〕 晴れ

【調査範囲】 大道橋～諏訪野橋

【確認した生物】 イシマキガイ、カワニナ、モノアラガイ、ハグロトンボ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、アメンボ、モンシロチョウ、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、モクズガニ、クロベンケイガニ、アカテガニ、ボラ、メダカ、マハゼ、ウロハゼ、ヒナハゼ、スミウキゴリ、チチブ、アベハゼ、クサガメ、アオダイショウ脱け殻



# 事務局だより

## ◆10月以降の活動予定◆

☆定例クリーンアップ10/27(日)、11/24(日)、12/22(日)

9時～11時 大道一丁目緑地(ちとせ園) 集合 ※雨天中止

持ち物:川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

最近、クリーンアップの時に近隣住民の方々に「川に入ってもいいんですか?」とか「どんな生き物がいるんですか?」と声をかけられることがあります。

そこで、侍従川のことや当会の活動のことを知ってもらうために、「毎月第四日曜日に行われる侍従川定例クリーンアップの時(9:00～11:30)に、大道一丁目緑地(旧称:ちとせ園)の侍従川の入口の扉を開錠している(ただし、川での事故はふるさと侍従川に親しむ会は責任を負わない)」ことを記載したポスターを、大道1丁目緑地の川に降りる階段の入り口にある扉に掲示することにしました。

代表 山田陽治

☆10/5(土)ハゼ釣り大会 9:00～15:00 \*雨天中止

[集合] 9:00大道小学校

[活動場所] 午前…汐見橋周辺(下流域) ←釣り

午後…大道一丁目緑地\*旧称:ちとせ園(中流域) ←天ぷら調理

[持ち物] 釣具&釣竿(ない人はご連絡ください)、昼食(買い弁可)、飲み物、帽子、タオル、レジャーシート(必要な人)、ウエットティッシュ(必要な人)、箸&皿、その他 [参加費] 会員無料、非会員¥500(食材費、保険代込)

◎要申込み…参加人数、竿(竹竿)レンタル数、緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)を記入の上、info@enyu-pn.com(遠藤)まで

☆11/3(日)秋の恵みをいただこう! 源流の森ハイキング 9:30～15:00  
～キノコ博士によるキノコの実食&レクチャー。キノコ以外にも秋の森の恵みを探します

[集合] 9:30大道小学校

[活動場所] 午前…朝比奈北市民の森(予定)

午後…大道一丁目緑地\*旧称:ちとせ園

[参加費] 会員無料、非会員¥300(食材費、保険代込)

[持ち物] 山歩きしやすい格好、キノコなどを入れる袋、箸&皿、昼食(買い弁可)、飲み物、タオル、軍手(必要な人)、レジャーシート(必要な人)、その他

☆12/8 (日) 冬の森探検 9:00~15:45 \*雨天中止

[集合] 9:00大道小学校

[コース] 大道小学校→朝夷奈切通→三郎の滝→十二所果樹園→熊野神社→朝比奈町 (解散可) →大道小学校 (解散)

[参加費] 会員無料、非会員¥100 (材料費、保険代込)

[持ち物] 山歩きしやすい格好、長靴 (負担にならない人)、小さな網 (使いたい人)、昼食 (買い弁可)、飲み物、軍手、剪定ばさみかナイフ (ある人)、タオル、レジャーシート (必要な人)、レジ袋 (ゴミ入れなど)、その他



去年の様子

### ■学生部の活動

☆定例調査 (定例クリーンアップ後に実施) : 10/27は上流、11/24下流

☆11月~3月 水鳥調査

☆12/7 (土) 野島公園での夜の干潟観察会

☆12/22 (日)、1/26 (日) 大道溪谷整備

詳細は決まり次第、ホームページ及びメーリングリストでお知らせします。

### <<新スタッフ紹介>>

事務局スタッフ: 藤間康司さん

藤間さんに新たにスタッフに入ってもらうことになりました。今年度はサブとして運営に参加してもらい、来年度の総会でスタッフとしての承認を得ることになります。よろしくお祈いします。

### <<2019年度会費納入のお願い>>

**今年度の会費をまだ納入されていない方は、納入をお願いいたします。**

**家族4,000円、大人3,000円、学生部・ジュニア1,500円**

**郵便払込口座: 00230-5-68634 ふるさと侍従川に親しむ会**

**※家族会員は、家族であれば、何人でも4,000円です。**

現金での支払いは間違いのもとになりますので、必ず郵便局払込票で支払ってください。なお、払込料金は、**払込人負担** (青色の払込取扱票) とさせていただきます。ご理解・ご協力をお願いいたします。

また、払込票の通信欄に、会員種別 (家族、大人、学生部、ジュニア)、お名前 (全員分)、会報の郵送希望の有無の記入をお願いいたします。

問合せ: [jjyukai@gmail.com](mailto:jjyukai@gmail.com)

《編集後記》 ちょうど5年前に、ここで佐野副代表の結婚のお知らせをしましたが、今回は長女誕生のお知らせです。汀ちゃん (3ページ)、超かわいいですね~(MK)